

青嵐

学報
seiran
Vol.46

題字：阿南 惟正 初代理事長筆



学報

発行日／2017年12月5日
発行元／北九州市立大学広報入試課

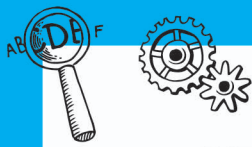


公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

70th Anniversary Logo

contents

- 02 | enPiT-Pro “人工知能・ロボット・IoT”に関する短期講義・演習プログラム
- 03 | 北方シネマ
- 04 | 北九大 魅力発信プロジェクト
- 06 | 留学・海外インターンシップ体験談
- 07 | 「コンパクトオープンキャンパスin広島」を開催！
| 経済学部+ビジネススクール (K²BS) インスパイア・フォーラムを開催しました！
- 08 | 第71回 青嵐祭&第15回 響嵐祭
| 国際環境工学部 ひびきのオープンキャンパスin響嵐祭
| 12月以降の他大学との合同進学ガイダンス・入試直前相談会のご案内



社会人向けコースを平成30年度に開設予定

enPiT-Pro “人工知能・ロボット・IoT”に関する短期講義・演習プログラム

地域産業の競争力強化を図る人工知能とロボット技術を駆使したIoT技術の社会実装を推進する実践的人材育成コースの開発・実施

文部科学省が平成29年に公募する「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)」の社会人向けプログラム(enPiT-Pro)に、北九州市立大学を代表校とした九州・中国地域の5大学が連携するプログラムが採択されました。(補助金期間:平成29年度~33年度の5年間) 本学の第3期中期目標にある「社会人教育」の実現を目指して、大学院国際環境工学研究科の専門教育を社会人に向けたプログラムとして新たに始動させます。

代表校  **北九州市立大学**
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU
www.kitakyu-u.ac.jp

連携校  国立大学法人 **九州工業大学**  **熊本大学**
Kumamoto University  **宮崎大学**
UNIVERSITY OF MIYAZAKI  **広島市立大学**
Hiroshima City University

地域産業の特色を活かした教育プログラム

九州・中国地域の特色ある産業を対象とします。幅広い分野を大学連携で補完し合い、新しい基幹産業への展開を実現するチャンスを活かすために、すでに社会で働く多様な人が、人工知能とロボット技術などの新しい技術革新を学ぶための実践的な教育プログラムを開発・実施します。

地域の特徴ある基幹産業のための **5つのスマート産業コース群** /

スマートファクトリ コース (製造産業)	インテリジェントカー コース (自動車産業)	スマートライフケア コース (介護産業)	スマート農林畜産 コース (農林畜産産業)	おもてなしICT コース (観光業)
-----------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------

教育プログラムの特徴

特徴 1 地域のネットワークによる課題解決の場

- コワーキングスペースの活用
- 課題解決のためのチームづくり
- フューチャーセッションによる演習グループの自己組織化

連携機関
(公財)北九州産業
学術推進機構
e-PORTパートナー

特徴 3 大学のネットワークによる体系的な教材

信号処理、ネットワーク、セキュリティ、計測・制御、ものづくりに関する基礎・専門科目(各8時間)、基盤スキル演習(16時間)
質の高いVOD/eラーニング教材によるアクティブラーニング



特徴 2 企業とのネットワークによる活用事例の講義

スマート産業コースごとに、実際のIoT導入の成功事例、失敗事例に対する事例講義
最先端AI・ロボットのセミナー開催

国立大学法人
九州工業大学

特徴 4 人のネットワークによる協働型の実践的演習

IoTの様々な応用分野を題材として、約36時間のグループワークによる発見学習、問題解決学習、調査学習

修了認定(講義・演習120時間)

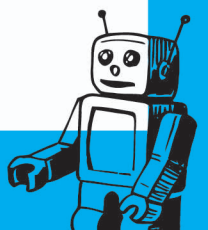
IoTアーキテクト(俯瞰重視)

AI・ロボットに関する知識を産業と関連づけて理解し、産業への導入事例を解析し、理解するスキルを修得

IoTエンジニア(技能重視)

AI・ロボットを体系的に理解し、新しい情報技術を用いた、ソフトウェア開発を含むものづくり技能を修得

平成30年4月開講予定 4月開講に向け、今後HP等でも最新情報を発信していく予定です。



北方シネマ

大学が映画館になる日

北九州市立大学のなかにつくられた「北方シネマ」が地域に開かれたドキュメンタリー映画館として2017年にスタート

<http://kitagata-cinema.blogspot.jp/>
080-6458-1184 kitagata.cinema@gmail.com

本学では今年度より「北方シネマ」をたちあげ、現時点で学生と教員をあわせて32名で運営しております。

この北方シネマは、本学でのアクティブラーニング推進の一環として活用され、自主学習の教材のひとつに位置づけられています。

同時に、教員や学生たちと同窓生や北九州市民がつながるための、地域に開かれた「映画館」をめざしています。大学ならではの専門家や監督のアフタートークも北方シネマの魅力のひとつです。上映されたドキュメンタリー映画を題材に議論を交わしながら、参加する人たちが主体的に学びあう、贅沢なひとときになればと思っています。

こうした形での定期上映は、従来の自主上映会とは異なり、常設映画館に準じた全く新しい試みとなります。全国でただひとつの大学内映画館の試みとしてスタートした「北方シネマ」では、今後さらに上映実績を増やし、他大学のさきがけとして定着させていきたいと考えています。**ぜひ、毎月第1金曜日は、大学に足を運び、応援して下さい。**



北方シネマとは

設立の主旨

ドキュメンタリー映画はフィールドワーク研究によく似ています。現場に足をはこび、人や物に出会い、ときにはそこに住みこみながら、時間をかけてひとつの事実をあきらかにし、さまざまな社会問題にたちむかう。表現方法はそれぞれにちがっても、関わる者の人間性そのものをそこに感じるのです。優れたドキュメンタリー映画には、撮られる者、撮る者、見る者の三者を有機的につなげていく力があります。

北九州市立大学ではこれまで「チョムスキー9・11」の上映（2003年4月）、「東アジア移住共生映画祭」の共同主催（2010年7月）などを通じ、広くドキュメンタリー映画を紹介する機会をつくってきました。大学で学ぶ学生たちにとって、こうした映画は世界に関心を持つ貴重な第一歩となります。また地域の人々との紐帯が生まれるきっかけにもなります。

さて、北九州市では、2014年から北九州市環境ミュージアムを会場に「東田シネマ」というドキュメンタリー映画の上映会が、毎月定期的開催されてきました。「東田シネマ」では、映画配給

などを手がける増永研一氏らが中心となり、力のあるドキュメンタリー映画を厳選し、市民にむけ紹介しています。おかげで北九州には、東京や大阪などの大都市でも機会に限られるドキュメンタリー映画を身近に鑑賞できる恵まれた映画環境が生まれています。私たちは3年目に入ろうとするこの取り組みと連携し、そうした機会をさらに多くの人々と共有したいと考え北方シネマを立ち上げました。

2017年4月より小倉南区の北九州市立大学を会場に、東田シネマからの配給作品や北方シネマ独自のプログラムを定期的に上映していきます。さらに知の拠点である大学という立地を生かし、テーマに関する知見や学識を持つ研究者や監督、制作者をまじえ作品について討論する機会を設けます。私たちは北方シネマを、大学の中にありながら地域に開かれている新しい「映画館」であると考えています。このちいさな試みが、やがて全国にひろがっていくことを願っています。

それでは、ご一緒に珠玉のドキュメンタリー映画を楽しみましょう。

「北方シネマ」運営委員会 2017メンバー

- | | |
|---------|--------------------|
| 竹川 大介 | (文学部人間関係学科 教授) 世話人 |
| 稲月 正 | (基盤教育センター 教授) |
| 猪股 萌子 | (外国語学部 英米学科 4年) |
| 大平 剛 | (外国語学部 国際関係学科 教授) |
| 緒方 良子 | (文学部人間関係学科 2年) |
| 小野 憲昭 | (法学部法律学科 教授) |
| 片岡 寛之 | (地域創生学群 准教授) |
| 鎌田 隼人 | (文学部人間関係学科 3年) |
| 神原 ゆうこ | (基盤教育センター 准教授) |
| 木原 謙一 | (外国語学部 英米学科 教授) |
| 木村 涼葉 | (文学部人間関係学科 3年) |
| 黒坂 佳男 | (北九州市立大学生生活協同組合) |
| 古藤 あずさ | (社会システム研究科 博士前期課程) |
| 齊藤 園子 | (外国語学部 国際関係学科 准教授) |
| 白倉 瑠々 | (文学部人間関係学科 3年) |
| 申 東愛 | (法学部政策科学科 教授) |
| 園田 采加 | (文学部比較文化学科 1年) |
| 田中 幹哉 | (文学部比較文化学科 1年) |
| 田部 井世志子 | (文学部比較文化学科 教授) |
| 田村 慶子 | (法学部政策科学科 教授) |
| 田村 嘉之 | (社会システム研究科 博士後期課程) |
| 張 平平 | (社会システム研究科 博士後期課程) |
| 本田 真悠 | (法学部 法律学科 2年) |
| 福島 勲 | (文学部比較文化学科 准教授) |
| 三崎 尚子 | (文学部人間関係学科 4年) |
| 命藤 恭子 | (西南女学院大学短期大学部 准教授) |
| 毛利 真子 | (西南女学院大学短期大学部 2年) |
| 門馬 一平 | (文学部 非常勤講師) |
| 山形 由美 | (西南女学院大学短期大学部 2年) |
| 山口 裕子 | (文学部比較文化学科 准教授) |
| 増永 研一 | (東田シネマ) |

毎月第1金曜日 18時^{*}より本館 A-101 にて

※直前に講義がある場合は18時30分上映開始。日程や時間・教室が変わる回もあります。事前の案内をご確認ください
【料金】 前売予約 1000円・当日 1200円・シニア/障害者 1000円・大学生/高校生 500円(資料代)・中学生以下無料

KITAGATA CINEMA
<http://kitagata-cinema.blogspot.jp/>

北九大 魅力発信プロジェクトとは？

KITAGATA

Active policy



**最良の進路決定を
迎えてもらうことを目標とする。**

魅力発信プロジェクトとは、北九大の内外のすべての方に向けて本学の魅力を発信するプロジェクトです。主に高校生やその保護者の方に向けて、最良の進路決定を迎えてもらうことを目標として、大学生生活の実状や北九大独自の取り組みなどを伝える活動を行っています。



Team leader comment

**私たちは、本学の魅力を学内外に広め、「北九大の良さ」を
未来永劫存続させ、発展させていく使命を担っている。**



本学は、学生、教員、事務局それぞれが協力、連携し合うことで留学制度や研究活動、ボランティアなどの学生活動を充実させています。その主体となる学生の輝きと三者間の結びつきがこの大学の魅力であるといえます。私はこのプロジェクトで、高校生や保護者の方の「北九大に行きたい!」、「わが子を北九大に入れたい!」という声を数多く聞いてきました。その声を通して気づいたことは、私たちは、本学の魅力を学内外に広め、「北九大の良さ」を未来永劫存続させ、発展させていく使命を担っているということです。そのためには数多くの高校生や保護者の方と接する機会や、学内外の方との交流が必要です。私はこれからも、本学の魅力を伝え、多くの人の心を動かしていくことをここに誓い、日々の活動に邁進していく所存です。

魅力発信プロジェクトリーダー 菅田 翔也

HIBIKINO

Comment

「先輩に聞くことができ良かったです」と言ってもらえた時は、とても嬉しかったです。

私は2年生からプロジェクトメンバーとして大学訪問で大勢の高校生に対して大学生生活の紹介や、施設案内をしました。この活動には「高校1・2年生に大学とはどのような場所なのかを知ってほしい。その中で北九大を選択肢に入れてくれたら嬉しいな」という気持ちで取り組みました。私の勉強の話やアルバイトの話、将来の話などを真剣に聞いてくれた高校生たちに感謝しています。

もう1つの重要な役目として、オープンキャンパスでの入試相談がありました。この活動では受験勉強に悩んでいる高校生や保護者の方とお話をしました。初めは「人の将来に関わるので責任のある役目だし、役に立てなかったらどうしよう」と思いましたが、自分の受験期を振り返ってみると高校生に話せるエピソードがたくさんあることに気がきました。それは、私が高校生の頃は3年生になってから大学進学を決めた結果、朝から晩までお盆も正月も関係なく勉強しなければ大学には合格できないような生徒だったからです。そのおかげで、具体的な勉強法が知りたいと来てくれた高校生達に私の良かった経験・悪かった経験を話すことができました。終わった後「先輩に聞くことができ良かったです」と言ってもらえた時は、とても嬉しかったです。

さらに今年は学内だけでなく、私の地元・広島でのコンパクトオープンキャンパスにも参加しました。本学での開催には来られなかった来場者の方が多いということで、普段の内容に加えて本学には広島出身の学生もたくさんいることや、新幹線があるので帰省しやすいことなど、北九州が意外と身近であることをアピールしました。

魅力発信プロジェクトの活動を通して私と話したことが、高校生の受験勉強や進路選択に少しでも役立っていれば嬉しいです。

国際環境工学科 情報メディア工学科 4年

大田 満里奈





Our mission!!

Mission.1

キャンパスツアー・ 大学生活紹介プレゼンテーション

本学を訪れた高校生や保護者の方に対して、キャンパス内を巡るキャンパスツアーや大学生活を紹介するプレゼンテーションなどを行います。学生目線の紹介を行うことで、高校生や保護者の方に大学生活をイメージしてもらえるように日々努めています。特に高校生は、高校生活との違いに驚きや関心を示して頂ける場合が多く、「北九大に行きたくなった。」という声や、保護者の方からも「わが子を北九大に進学させたい。」という声を頂き、確かな手応えを感じています。



Mission.2

各種ガイダンス・入試相談会同行

広島、大分、鹿児島などの各県や博多で行われるガイダンスや、入試相談会に同行し、本学教職員と共に学部学科の良さや、入試体験談、アドバイスなどを高校生に対して行います。本学に関心を持つ高校生は、在学生の話に対してかなり関心を持って聞いてくれています。ガイダンスや相談会で出会った高校生と春に大学内で再会することもあり、高校生の入試のモチベーションにもつながる大事な任務です。



Mission.3

大学広報に関わるイベントの参加

北九大70周年記念式典や、市内10大学・行政等との意見交換会「学びシティ!北九州」、本学を紹介するラジオやテレビの出演など大学広報を目的として行われるイベントへの参加も仕事の一つです。北九州市の市長や北九大OB・OGの方など、学外に向けて本学の魅力を発信できる貴重な機会であり、普段行くことのない社交の場を体験することができます。学内だけでなく、外部の方ともつながりを持つことで、周辺地域とともに大学を発展させていく重要な機会となります。



Mission.4

北九大グッズの作成

本学オープンキャンパスで来場者の方にお配りするノベルティグッズの検討や、本学創立70周年記念の際の北九大ランチパックの考案などに携わる仕事です。本学をPRするためのグッズを外部の業者の方などと相談して検討したもので、「もの」を通して本学を広く発信していく取組みも行っています。



※2016年4~5月限定販売



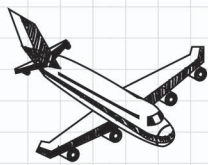
学科やサークルを問わずわかりやすく伝えています。

Comment

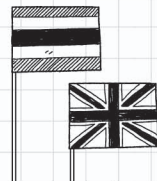
私は北九州市立大学魅力発信プロジェクトのメンバーとして、本学の魅力を学外でのイベントや大学訪問に来た高校生などに伝えています。特に私が力を注いでいるのは、オープンキャンパスや出張ガイダンスで行う高校生のための入試相談です。大学選びや大学入試の勉強など様々な悩みを抱えた高校生や、自分の子供に何をしてあげられるか悩んでいる保護者のために、可能な限りの注意と助言をしています。私も高校生の頃、大学選びについて長い期間悩んでいた経験があったため、自分のように大学選びに困っている高校生の気持ちがよくわかります。そのような高校生の不安を少しでも解消できるように、自分の所属している学科やサークルを問わず、本学のことを時間をかけて調べ、それをわかりやすく伝えるように努めています。そのような努力が実り、深い悩みを抱えた高校生や保護者が相談後、スッキリした顔で「ありがとうございます!」と喜んでくださることがとても嬉しく、やりがいを感じます。まだまだ自分でも答えるのが難しい相談があったり、他のメンバーに助けられることもあります。これからも高校生が抱える悩みを解消し、本学の魅力を多くの人に伝えられるよう精進しようと思います。

国際環境工学部 機械システム工学科 3年
伊藤 大一





留学・海外インターンシップ体験談



各種留学プログラム (全学部・学群の学生対象)

交換留学

在学したまま海外の協定校に留学する制度です。派遣期間は約1年。派遣学生は広く公募し、選考の上決定します。

交換留学の3つのメリット

- 『安心』信頼のおける協定校が留学先なので安心。
- 『経済的』授業料は北九州市立大学の授業料のみで、受入先での授業料は発生しません。また、派遣学生のうち成績優秀者には奨学金が支給される制度もあります。
- 『単位互換』単位互換が可能なので、留年せずに卒業することもできます。

派遣留学 (平成29年11月時点)

	大学名	国・地域	派遣人数	期間	特色
国・地域別	タコマ・コミュニティカレッジ	米国・ワシントン州	1学期 30名 2学期 25名	約半年	本学学生のための特別プログラム
	フォートリス大学	米国・コロラド州	2名	約1年	学士課程の授業を履修
	ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ	米国・ハワイ州	5名	約5ヶ月	主に語学力向上を目的とした授業を履修
	バンクーバーアイランド大学	カナダ・ブリティッシュコロンビア州	5名	約4ヶ月	主に語学力向上を目的とした授業を履修
国・地域別	北京語言大学	中国・北京市	5名	約1年	主に語学力向上を目的とした授業を履修
	同济大学	中国・上海市	約半年 2名 約1年 2名	約半年 約1年	主に語学力向上を目的とした授業を履修

海外語学研修

夏期・春期の休業期間中に海外協定校で開かれる3~5週間の語学研修プログラムです。基本的には人数制限がなく、希望者は何回でも参加できます。内容は研修先ごとに異なります。研修先での成績は、本学の単位として認定申請することもできます。(学部学科、学群学類により異なります。)

ひと足先に、
グローバルな仕事を体験!

海外 インターンシップ

本学では、グローバル人材育成の一環として、平成25年度から海外インターンシップを実施しています。これまでに、17ヶ国・地域で延べ190名の学生を海外の企業等に派遣しています。将来、「世界を舞台に働きたい」「ビジネス現場で英語を試してみたい」「海外とつながりのある仕事に就きたい」という学生にとって、海外の現場を体験できるこの上ない機会です。



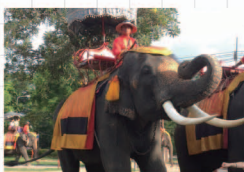
吉川 悠一さん
外国語学部
国際関係学科4年

語学能力向上だけでなく、 かけがえのない経験ができました。

私は高校時代から「長期間にわたって海外に滞在し、異文化にどっぷりと浸かってみたい」という夢を持っていました。その願いが叶い、2016年9月から2017年5月までの約9か月間、イギリスのオックスフォード・ブルックス大学に留学することができました。

オックスフォード・ブルックス大学では英語の基礎能力を上げる授業はもちろんのこと、国際政治やイギリス史など、色々な授業を選択しました。特に勉強になったのがイギリスの分裂の歴史について学ぶ「Disunited Kingdoms」という授業でした。私はその中で「イングランドとアイルランドの対立の歴史」をテーマにしたレポート課題に取り組みました。アイルランド出身の先生のもとで学び、休暇を利用して実際にアイルランドへ出かけ現地を視察することなどを通じて、イギリスの歴史の一端を肌で感じることができました。オックスフォード・ブルックス大学ではレポート提出が求められる授業が多かったので、英語を書く力が留学前と比べて格段にレベルアップしたと思います。また、留学中は英会話能力を向上させるため、可能な限り外国人の友人と一緒に過ごすことを心がけました。帰国後の就職活動では幸いにも東京都内にある外資系ホテルから内定を頂くことができ、今後は2020年に向けて国際ホテルパーソンに求められる知識や異文化理解能力をさらに磨いていきたいと考えています。

私自身の経験から、留学開始時点の語学能力次第で、留学期間中に経験できることが大きく変わってくると実感しています。英語圏への留学を目指している皆さんには、留学支援語学講座(国際教育交流センター共催、北九州市立大学生協実施)なども活用して、英語の語学能力を磨き、留学中に多くの貴重な体験をしてほしいと思います。



国際的な仕事をする上で 何が大切であるのかを知ることができました。

2017年の夏に、総合旅行会社のH.I.S.バンコク支店で3週間の海外インターンシップを体験しました。ヨーロッパでもなく東アジアでもない、「東南アジア」という新しい場所に飛び込んで、その成長・発展の活力を自分の目で見て、肌で感じて、今後の勉強や生活に生かしたいと思い、今回参加させていただきました。最初の1週間は「input」と呼ばれる実習で、主に支店内の色々な部署を回り、それぞれの部署がどのような仕事をしているのか学びました。そして残りの2週間はアウトバウンド専門の部署で「タイ人観光客を対象として、訪日旅行や日本以外への海外旅行についても商品を企画する」という任務が与えられました。タイ人をターゲットにした商品を開発するわけですから、タイ人のニーズやトレンドなどに目を向けなくてはなりません。そこで様々なデータを集めました。その中で私は「訪日旅行市場はそろそろ飽和状態に近づいている」「しかし地方はその例外である」という事柄に着目し「香港と長崎を巡る2カ国ツアー」を企画。英語によるプレゼンテーションを行った結果、企画マネージャーから「エアラインを変えるなどの修正を加えれば商品化できる」という評価をいただくことができました。大学の授業や海外留学で学んだグローバル・ビジネスに関する知識と英語力が生きた瞬間でした。私は今回のミッションを通じて、国際的な仕事をする上で異文化を理解することや主体的に動くことがいかに大切であるかを学びました。現在私は旅行関係、航空管制官または貿易関係の職に就くことを希望していますが、今回の経験を就職活動や社会人生活に生かしていきたいと考えています。



落 華蓮さん
外国語学部 英米学科3年

「コンパクトオープンキャンパスin広島」を開催!

9月18日(月・祝)に、広島市のホテルメルパルク広島にて本学のコンパクトオープンキャンパスが行われました。前日の台風18号の影響が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、7月のオープンキャンパスに参加できなかった受験生や保護者の皆様、さらには本学に興味を持つ高校1年生の生徒さんまで、多くの来場がありました。コンパクトオープンキャンパスでは、各学部の模擬講義や個別相談会、各種資料配布、大学生協による住まいの相談会などを実施。また、「魅力発信プロジェクト」の学生2名が本学を目指したきっかけや大学生活の様子、就職活動での体験談等についてプレゼンテーションを行い、等身大の北九大学生をご紹介しますこともできました。本学で行うオープンキャンパスとは一味違う特別な内容で、教員や学生をより身近に感じていただける貴重な機会になったのではないかと思います。



経済学部+ビジネススクール(K²BS) インスパイア・フォーラムを開催しました!

10月25日(水)、本学経済学部と大学院マネジメント研究科(K²BS)が合同で、特別フォーラムを開催しました。

テーマは、『本気で、地球サイズの環境ビジネスを考えてみよう—そのやりがいと、すごいワクワク感—』。

ゲストには、本学商学部(現:経済学部)OBであり、2016年12月に発刊された日経BP社「日経ビジネス『次代を創る100人』」にトップバッターとして掲載された日本環境設計株式会社 代表取締役会長 岩元 美智彦さんをお迎えして、文字通り「地球規模」のお話を伺うことができました。大手繊維商社での経験を基に、ベンチャー企業を立ち上げ、成立が非常に難しいと考えられていた「『経済』と『環境』の両立」を証明したいとの思いから、全ての物質の元となる共通の元素(C炭素・H水素・O酸素)に注目し、原子レベルまで分解することにより、高効率のリサイクルシステムを確立し、世界中の企業から注目を集める会社に10年足らずで育て上げた岩元会長。

講義では、「わくわくドキドキ」「楽しみながらみんなで参加」といったキーワードが至るところに散りばめられており、「環境問題=きつい、深刻」といったマイナスイメージでは事業や取組みが長続きしないこと、石油などの地下資源ではなく、既に製品化された衣類等の「地上資源」を繰り返し利用することで、真の循環型社会が実現し、資源の奪い合いから起こる紛争や戦争をなくすことに繋がるという仕組みを確立するプロセスを、分かりやすくご紹介いただきました。

また、技術はもちろん大事であるが、それを効果的に運用していくためのモデルの確立が何よりも大事であること、人脉や様々な業種間での情報交換の広がりやたくさんのアイデアが生まれてくること、なによりも諦めずにチャレンジすることなど、環境だけでなくいろんな分野や社会で必要となるスキルを指南していただいた、あっという間の90分でした。



平成29年11月3日(金)4日(土)5日(日)

第71回 青嵐祭

テーマ: 創麗 ～新華なる祭典～



新たな気持ちで より華やかな祭典に!!

北九大生の元気と笑顔に心を動かされた3日間!! 北方キャンパスの「青嵐祭」は、11月3日(金・祝)から5日(日)までの3日間にわたり開催されました。期間中には、学生主体の模擬店やステージイベント、文化系サークルの活動発表や体験型イベントを中心とする教室企画、北九大ファッションショーやよさこい公演などが行われました。



平成29年11月11日(土)12日(日)

第15回 響嵐祭

テーマ: very berry festivaly



ひたむきな情熱と パワーに感動の連続!

ひびきのキャンパスの「響嵐祭」は、11月11日(土)から12日(日)までの2日間にわたり開催されました。地域に密着した企画を展開。セグウェイ試乗会など、理系ならではの催しも。学生、教職員、地域住民が一体となった祭りの魅力が感じられました。



国際環境工学部 ひびきのオープンキャンパス in 響嵐祭

平成29年11月12日(日) 10:00～15:00

ひびきのキャンパスで開催中の響嵐祭に合わせて、1日だけのオープンキャンパスを開催しました! 日頃見ることのできないラボの見学や公開講座、それぞれの学科の特長を示した学科イベントに、たくさん的高校生や地域の子も達にご参加いただきました。



12月以降の他大学との合同進学ガイダンス・入試直前相談会のご案内

	日時	会場	主催
進学ガイダンス	大分市 12月11日(月) 15:30～18:30	トキハ会館	栄美通信
	熊本市 12月12日(火) 15:30～18:30	くまもと県民交流館パレア	栄美通信
	福岡市 12月18日(月) 15:00～18:30	エルガーラホール	栄美通信
相入試直前 ※	福岡市 平成30年1月20日(土) 10:00～16:00	博多バスターミナル 9階大ホール	北九州市立大学

※大学入試センター試験の再試験が行われる場合は、相談会の開催を中止もしくは延期する場合があります。



どちらの会場も、予約不要、入退場自由です。今後のガイダンスやイベント等については、決まり次第本学ホームページで随時お知らせ致します。